



瀬戸内海環境保全基本計画における NPO・市民活動の位置付け

- 14 環境保全思想の普及及び住民参加の推進
- ・住民や民間団体及び利用者の正しい理解と協力
 - ・施策策定に当たっての住民意見の反映
- 15 環境教育・環境学習の推進
- ・参加する意識及び自然に対する感性や大切に思う心を育む
 - ・民間団体の連携の下、環境教育等を推進
 - ・国立公園等を活用した……人材育成及び民間団体の活動に対する支援等
- 17 広域的な連携の強化等
- ・住民や事業者等の幅広い意見を調整し、施策に反映するための適切な仕組みの検討(・活用)

瀬戸内海国立公園の

風景を守ろう



環境省

優れた風景地の国立公園でも、漂着ゴミ・不法投棄や白砂青松の荒廃などの問題を抱えています。
この美しい風景を保護するためにボランティアやグリーンワーカー事業などによる様々な活動が行われています。



NPO等による活動報告・提言等

1. 瀬戸内海国立公園指定70周年記念のつどい
活動事例報告・提言集作成と交流発表会開催
(中国四国地方環境事務所・おかやま環境ネットワーク)
2. 里海 いま みらい
(中国新聞) 瀬戸内法30周年
3. 海・人・未来 よみがえれ瀬戸内海
(山陽新聞) 国立公園指定70周年



収録された報告・提言の団体とその内容		80団体 (NPO、企業、学校、研究機関、漁協、経済団体、自治体・国機関等)
自然保護・景観保全		太字 : 交流発表会での発表団体
有明浜の海浜植物保護・普及啓発	・有明浜の海浜植物を観察する会	
寒霞渓での植樹活動	・い(む)し(1964)会	
みどり再生ネットワーク支援	・(有)ウラシマ緑化研究所	
自然保護全般	・愛媛県環境部環境局自然保護課	
カブトガニ調査・保護活動(笠岡)	・ 笠岡市立神島外中学校カブトガニ保護少年団	
カブトガニ調査・保護活動(竹原)	・カブトガニがすみやすい環境を守る会	
沿道の保全管理	・NPO法人 グリーンラインを愛する会	
沙美海岸の砂浜保全	・黒崎地区の明日を考える会	
六甲山の里山管理	・神戸市公園緑化協会・神戸市	
六甲山の里山管理	・こうべ森の学校	
唐子浜の白砂青松保全	・古国分の自然を守る会	
洲本成ヶ島の海浜植物保全・海ゴミ対策	・ 国立公園成ヶ島を美しくする会	
宮島の森林管理支援	・CCC自然・文化創造工場広島事業所	
海砂採取禁止提言	・瀬戸内海海砂採取全面禁止同盟	
磯の観察会等	・鷺羽山地区パークボランティアの会	
竹原賀茂川の河川管理	・竹原西公民館吉崎土手美化推進委員会	
小豆島上陸のウミガメ保護・観察	・土庄町立戸形小学校	
野呂山の活動交流	・「野呂山感動クラブ」 現在:NPO法人	
自然保護全般	・広島県環境生活部環境局	
海棲生物調査保全	・広島県立忠海高等学校科学研究部	
宮島保全管理全般	・宮島地区パークボランティアの会	
宮島野生シカの調査	・宮島エコツーリズム協議会	
宮島千年の森づくり	・宮島千年委員会	
自然景観・文化景観の保全	・ 宮島ユネスコ協会	

美化清掃

太字: 交流発表会での発表団体

海ゴミ等の調査・回収

- ・愛媛県自然保護協会
- ・大串花の会
- ・大多府町内会
- ・大塚鳴門開発株式会社
- ・岡山市環境調整課
- ・香川県勤労者山岳連盟
- ・NPO法人 グリーンパートナーおかやま
- ・財団法人自然公園財団鳴門支部
- ・**瀬戸内の環境を守る連絡会(瀬戸環連)**
- ・瀬戸内海の路ネットワーク推進協議会
- ・兵庫県淡路県民局
- ・兵庫県勤労者山岳連盟
- ・広島商船高等専門学校

水質保全

水質研究・提言
児島湾水質保全
水関係イベント
水環境浄化・修復
EM普及

- ・岡山NEXT研究会
- ・岡山の緑と水と空気を守る連絡会
- ・環境NGO CWWI
- ・経済産業省 中国経済産業局
- ・NPO法人 瀬戸内海環境会議

環境保全全般

太字: 交流発表会での発表団体

瀬戸内海環境保全全般
大久野島歴史遺産保全・提言
温暖化対策
瀬戸内法改正提言
海ゴミ等全般調査・提言

- ・社団法人 瀬戸内海環境保全協会
- ・おおくのしま戦争遺跡の保存を進める会
- ・NPO法人 おかやまエネルギーの未来を考える会
- ・環瀬戸内海会議
- ・財団法人 水島地域環境再生財団

環境教育

ボランティア支援
各種環境活動の支援
山火事研究・教育
観察会開催講師
三原地区調査・イベント開催
六甲里山管理プログラム
海岸イベント開催
五色台地区各種イベント開催
セミナー開催ほかネットワーク形成
観察会開催講師ネットワーク
瀬戸内海世界遺産提唱
広域各種イベントネット
平和と環境教育提唱・実践
太田川と海とのつながり調査と発表
子どもパークレンジャー育成
生田川、布引・市ヶ原クリーンハイク
海藻等調査・マップ作成

- ・牛窓町
- ・NPO法人 岡山環境カウンセラー協会
- ・**岡山大学農学部土壌環境管理学研究室**
- ・かがわ自然観察会
- ・ぐるぐるみはら発見隊
- ・こうべ森の小学校
- ・国際海岸環境教育会議
- ・五色台ビジターセンター(五色台学運営協議会)
- ・(財)おかやま環境ネットワーク
- ・自然観察指導員兵庫県連絡会
- ・シンクタンクせとうち総合研究機構 世界遺産総合研究所
- ・瀬戸内しまなみ大学
- ・毒ガス島歴史研究所
- ・なかよし子どもチャレンジクラブ
- ・人間科学研究所
- ・布引・市ヶ原を美しくする会
- ・ひろしま生きた自然博物館

産業全般

太字: 交流発表会での発表団体

沿岸域連携ビジョン検討 ・ 中国経済連合会

観光

- 瀬戸内海意識アンケート調査 ・ 岡山商工会議所
- 笠岡諸島の活性化 ・ 笠岡ふるさと島づくり海社真鍋島支社
- 自然ふれあい活動 ・ 休暇村五色台
- 離島航路の活性化 ・ 国土交通省 四国運輸局
- 周遊観光ルートの開発 ・ 国土交通省 中国運輸局・四国運輸局
- 屋島の活性化 ・ 高松市観光課
- 地域美化清掃 ・ 社団法人 玉野市観光協会
- 各種イベント開催 ・ 玉野市産業振興部まちおこし課
- 水軍・潮流体験の推進 ・ 能島の里
- 船内での風景解説実施 ・ 両備運輸株式会社 旅客船事業部

漁業

- 赤潮調査研究 ・ 香川県赤潮研究所
- 海ゴミ回収・藻場育成 ・ 笠岡市漁業協同組合
- 海ゴミ回収・処理 ・ 日生町漁業協同組合
- 藻場再生 ・ 広島県水産試験場
- 海ゴミ回収・処理 ・ 寄島町漁業協同組合

産 業 全 般

太 字 : 交 流 発 表 会 で の 発 表 団 体

沿 岸 域 連 携 ビ ジ ョ ン 検 討 ・ 中 国 経 済 連 合 会

観 光

瀬 戸 内 海 意 識 ア ン ケ ー ト 調 査 ・ 岡 山 商 工 会 議 所

笠 岡 諸 島 の 活 性 化 ・ 笠 岡 ふ る さ と 島 づ くり 海 社 真 鍋 島 支 社

自 然 ふ れ あ い 活 動 ・ 休 暇 村 五 色 台

離 島 航 路 の 活 性 化 ・ 国 土 交 通 省 四 国 運 輸 局

周 遊 観 光 ル ー ト の 開 発 ・ 国 土 交 通 省 中 国 運 輸 局 ・ 四 国 運 輸 局

屋 島 の 活 性 化 ・ 高 松 市 観 光 課

地 域 美 化 清 掃 ・ 社 団 法 人 玉 野 市 観 光 協 会

各 種 イ ベ ン ト 開 催 ・ 玉 野 市 産 業 振 興 部 ま ち お こ し 課

水 軍 ・ 潮 流 体 験 の 推 進 ・ 能 島 の 里

船 内 で の 風 景 解 説 実 施 ・ 両 備 運 輸 株 式 有 限 公 司 客 客 船 事 業 部

漁 業

赤 潮 調 査 研 究 ・ 香 川 県 赤 潮 研 究 所

海 ゴ ミ 回 収 ・ 藻 場 育 成 ・ 笠 岡 市 漁 業 協 同 組 合

海 ゴ ミ 回 収 ・ 処 理 ・ 日 生 町 漁 業 協 同 組 合

藻 場 再 生 ・ 広 島 県 水 産 試 験 場

海 ゴ ミ 回 収 ・ 処 理 ・ 寄 島 町 漁 業 協 同 組 合

2004年(平成16年)4月4日(日曜日) 中国 16版 内政・総合(2)

瀬戸内海の再評価を

国立公園指定70年

社説

瀬戸内海は、かつては、日本列島の重要な交通の要路であり、その豊かな自然環境と歴史文化は、数代にわたって人々の心を魅了してきた。しかし、戦後、高度経済成長に伴って、瀬戸内海は、埋立地や工業地帯に転換され、その自然環境は、著しく劣化していった。...

新聞社説等で
今後の活動について
「住民と行政の
主体間協働」
「広域での団体間の連携」
を強調・期待
<主体・地域をつなぐ>

天風録

水防の重要性が強調

中国新聞 2004.6.1

瀬戸内海の各主体の取り組みをつなぐ 交流発表会・活動事例報告

2004年5月30日(日)せとうち児島ホテル

あいさつ



(財)おかやま環境ネットワーク
理事長 千葉 喬三氏
(現:財団理事・岡山大学学長)

趣旨説明



山陽四国地区自然保護事務所長
市原 信男氏
(現:中国四国地方環境事務所長)

基調報告



(独)産業技術総合研究所中国センター
上嶋 英機氏
(現:広島工業大学教授)

団体発表者プレゼンテーション

	<p>『山火事後の自然再生への研究と提案』 岡山大学農学部土壌環境管理理学研究室 奥山 清美さん</p>	<p>景観写真家 脇山 功氏</p>	<p>『海浜植物の保護』 国立公園・島を美しくする会 広島 康夫氏</p>
	<p>『瀬戸内トライアングル周遊観光ルート開発』 国土交通省中国運輸局企画課興部 板田 真典氏</p>		
<p>『津島32期生の取り組み』 瀬戸内の保護を守る連絡会 小沢 真直氏</p>	<p>『よびもどそう生きている化石オプティニ』 笠岡市立神島中学校オプティニ保護少年団のみなさん</p>	<p>『環境再生など産業復興の環境づくり』 広島県水産試験場 高山 晴義氏</p>	

中國新聞 Hiroshima

2003年8月24日～10月27日



【社説】「里海」の瀬戸内 工業地帯と向き合え
2003.8.24

1. 改善と停滞 — 恵み再生 人が耕す 2003.9.8
2. カブトガニ — 太古の姿 環境の指標 2003.9.15
3. 資源回復 — 「恵み育てる」模索続く 2003.9.22
4. アサリ — 「成育の畑」干潟細る 2003.9.29
5. 環境修復 — 流入有機物の1割浄化 2003.10.6
6. 海砂採取の傷跡 — 海砂採取 癒えぬ傷 2003.10.13
7. 森・川・海 — 帰って来い 天然アユ 2003.10.20
8. 海を身近に — われらの渚 変化見守る 2003.10.27

◆年表◆瀬戸内海をめぐる主な動き
◆図解◆カブトガニの生活史
◆年表◆環境修復に向けての主な動き

平成16年度
新聞協会賞候補作品「企画」部門

海・人・未来 よみがえれ瀬戸内海

（抜粋）

2004年1月1日～7月4日
瀬戸内海取材班

山陽新聞社

総目次

海・人・未来	よみがえれ瀬戸内海	頁
第1部 食が語る	連載9回	1
第2部 水が語る	特集 連載13回	12
第3部 風景が語る	特集 連載13回	26
第4部 鳥が語る	特集 連載14回	40
第5部 埋め立て	特集 連載10回	55
第6部 明日を語る	連載8回	66
連載を終えて	2回	75

◆関連特集

- 1月1日付（年頭特集）
- 3月17日付（瀬戸内海国立公園
70周年記念シンポジウム）
- 3月18日付（写真グラフ）
- 6月7日付（よみがえれ瀬戸内海
シンポジウム）
- 6月24日付（写真グラフ）